

eyes plus 範宙遊泳「うまれてないからまだしねない」

4月19日(土)~27日(日) シアターイースト

詳細はP10へ



撮影: amemiya yukitaka
「さよなら日本-瞑想のまま眠りたい-」(2013)
作・演出: 山本卓卓
出演: 大橋一輝、熊川ふみ、
壺本幸良、伊東沙保、
大石将弘(ままと)、椎橋綾那、
田中美希恵、名兎耶ゆり、波佐谷聡、福原 冠

今年27歳、若き作家が描くポジティブな未来

2007年に桜美林大学在学中の山本卓卓が旗揚げした範宙遊泳。テキストやイメージなど、舞台上に投影される鮮やかな二次元の要素が、三次元の俳優たちと有機的に絡まり合い、溶け合って“2.5次元の演劇”が立ち上がる。そんな独自の空間演出を駆使した作品群には、虚実や愛憎のあわいに横たわる真実への澄んだ眼差しと、毒や狂気を内包しつつもチャーミングなユーモアが垣間見え、次の作品が気になるカンパニーとして成長中だ。

待望の新作で描かれるのは「終末」、人類が滅びていくかもしれない話だとか。だとしても、その先にあるものを見せてくれるに違いないし、そこには山本が希求するポジティブで明るい未来の輝きが透けて見える。

1987年生まれの子は今年27歳。芸劇の単独公演としては、最年少アーティストとして登場する彼らが仕掛けるマジカルなステージを、ぜひ目撃して欲しい。

主催: 範宙遊泳 提携: 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) 助成: アーツカウンシル東京

芸劇dance 東京ELECTROCK STAIRS Vol.9 グループ作品 & KENTARO!!ソロ(2本立て)

5月21日(水)~25日(日) シアターイースト

詳細はP11へ



振付・音楽: KENTARO!!
出演者: 横山彰乃、高橋萌登、
服部未来、泊麻衣子、
田代理絵、KENTARO!!

KENTARO!!とカンパニーが挑むダンスの新たな地平

ヒップホップをベースに構築した独自の表現で既存のスタイルを打ち破り、ダンスの新しい地平を切り拓くKENTARO!!。横浜ダンスコレクションR2008で「若手振付家のための在日フランス大使館賞」を受賞してフランス研修を経験、またトヨタコレオグラフィアワード2008で「ネクステージ特別賞」と「オーディエンス賞」をダブル受賞、2010年に日本ダンスフォーラム賞受賞という、華やかな受賞歴を誇る気鋭のダンサーで振付家だ。

そんなダンス界の風雲児が08年12月に立ち上げた東京ELECTROCK STAIRSは、既存のテクニックだけに捉われないジャンルを横断した新しい表現を目指すカンパニー。振付、出演に加え、さらに音楽も手掛けるKENTARO!!は多才ぶりを発揮し、圧倒的なエネルギーで観客の心を掴む。今回の本公演では、近年の国内外の公演に出演してきたメンバーとの新作と、ソロでの新作も披露するという楽しみだ。

主催: KENTAROCKERS 提携: 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

マームとジブシー「ΛΛΛ かえりの合図、まったた食卓、そこ、きっと」

6月8日(日)~22日(日) シアターイースト

詳細はP13へ



作・演出: 藤田貴大
出演: 石井亮介、伊東祐那、
萩原 綾、尾野島慎太郎、
川崎ゆり子、斎藤章子、中島広隆、
成田亜佑美、波佐谷聡、召田実子、吉田聡子

岸田戯曲賞受賞作、待望のリニューアル再演

藤田貴大が2007年に設立、脚本と演出を務める彼が「マーム(母体)」となり、ジブシーさながらスタッフとキャストを集めて公演を行うマームとジブシー。セリフのリフレインが生むリズムが特徴的で、映画的、音楽的、小説的などとも評される作品は、著名な演劇人たちからの評価も高い。音楽家の大谷能生、美術家の館屋法水、漫画家の今日マチ子、小説家の川上未映子とのコラボレーションなど、ジャンルを軽やかに越境するスタイルも話題に。

2013年には初の海外公演も成功させた。今回は、12年に藤田が26歳で岸田國士戯曲賞を受賞した三部作『かえりの合図、まったた食卓、そこ、きっと、しおふる世界。』の中の2作品を、大幅にリニューアルして再演。初演のその後も描くという本作は、これまでさまざまなアプローチで“家族の風景”を描き続けた藤田の、ある意味で集大成的な作品になるだろう。演劇ファンのみならず、必見の舞台になることは間違いない。

主催: マームとジブシー 提携: 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

芸劇 dance モモンガ・コンプレックス 珍しいキノコ舞踊団「Together さ。」

6月27日(金)~29日(日) シアターイースト

詳細はP14へ



振付・構成・演出: 白神ももこ(モモンガ・コンプレックス)、
伊藤千枝(珍しいキノコ舞踊団)
出演: モモンガ・コンプレックス
(北川 結、白井梨恵、夕田智恵、白神ももこ)、
珍しいキノコ舞踊団(茶木真由美、矢嶋里美、
岡里蓉子、佐々木美和、仁科 幸、伊藤千枝)

伊藤千枝×モモンガ、白神ももこ×キノコの初タッグ!

珍しいキノコ舞踊団主宰の伊藤千枝がモモンガ・コンプレックス(写真左)に、モモンガ・コンプレックス主宰の白神ももこが珍しいキノコ舞踊団(写真右)に、振付家をクロスして作り上げる2つの新作をセットで見られるという、ひと粒で二度おいしいダンス公演。

結成はキノコが1990年、モモンガが2005年。15年という時間の経過があり、日本のコンテンポラリーダンス界の旗手として走り続ける伊藤は、白神にとって憧れの先輩だ。しかし、どちら

も(ほぼ)メンバーが女性のカンパニーで、作風が似ているといわれたこともあって、ふたりはお互いの作品を鑑賞し合い、プライベートでも親交を深めてきた。後輩から先輩へのラブコールで、初タッグとなる実験的な公演が実現する。伊藤と白神にとっても、それぞれのダンサーにとっても、もちろん観客にとっても、エキサイティングな体験になるはず。作品、そしてダンサーにどのような化学反応が起こるのか大いに注目したい。

主催: モモンガ・コンプレックス 共催: 合同会社キノコキ 提携: 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

芸劇 dance

2014(平成26)年8月~12月 実施予定

勅使川原三郎ディレクション U18ダンスワークショップ・プロジェクト 第3期



参加者募集は本年5月頃開始予定。
詳細は東京芸術劇場ホームページ等にて告知いたします。

勅使川原三郎ディレクション U18ダンスワークショップ・プロジェクト第2期の締めくくりとして、半年のワークショップの成果を舞台上で披露するデモンストレーション公演が、本年1月シアターイーストで行われた。第2期の参加者13名の少年少女と共に舞台上上がった勅使川原三郎自身が、ワークショップと同じように言葉をかける。その言葉を受けて、参加者の身体が目に見えて変化してゆく。普段は見る機会のないワークショップの公開というだけでなく、アーティスト本人の言葉を通じてその創作の方法を観客と共有する、有意義で贅沢な時間。参加者はワークショップを通じて、呼吸で身体を緩めること、自分で思考し工夫して変えてゆき、継続することの大切さ等、いろいろなことを学び、充実した表情で舞台を終えた。3年目となる第3期は本年夏から開始予定。

主催: 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) 東京都/東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)

東京芸術劇場

2014年度 演劇・ダンス若手提携公演 今後のラインナップ

今後東京芸術劇場で行われる演劇・ダンス提携公演から、若手の才能に注目するシリーズのラインナップを紹介します。詳細は、各劇団及び劇場HPなどで順次アップしていきます。

芸劇eyes	はえぎわ	シアターイースト	2014年8月
芸劇dance	BATIK	シアターイースト	9月
eyes plus	サンプル	シアターウエスト	9月
eyes plus	モダンスイマーズ	シアターイースト	2015年1月
eyes plus	アマヤドリ	シアターイースト	3月

* 芸劇eyes: 「芸劇が注目する才能たち」のキャッチフレーズのもと、これからの演劇シーンを担う作家や演出家、劇団を紹介します。
* eyes plus: 「いつもと違う、をプラスする」をテーマに、「芸劇eyes」に参加したカンパニーが再び芸劇に登場。劇場提携ならではの試みに取り組みます。